



## ようこそ先輩！～ K.さんをお招きして～

2月6日(水)、6年生の総合的な学習の時間に、K.さん(ガーデンカフェ&デリカテッセン KIMOTO 代表)をお招きし、キャリア教育の一環として講話していただきました。K.さんは、西明寺地域在住で、若手起業家としてご活躍中。食に関わる様々なイベント等を通して積極的にふるさと仙北市の良さを発信していらっしゃいます。子ども達からもよく知っていて「KIMOTOのお弁当やスパゲッティを食べたことがあるよ」と、とても身近な存在。K.さんは、若くして起業した経緯や食に対するお考え、そしてふるさと仙北市への熱い思いを子ども達に語っていただきました。また、目を輝かせ、熱心に聞き入る6年生の子ども達の姿もとても頼もしく、自らの夢について真剣に考える貴重な時間となりました。



### 【子ども達の感想より】

- K.さんのお話を聞いて、前までは秋田を出て、都会に行きたいと思っていましたが、自分のやりたいことをして、地元に戻ってくるのもいいかなあと、少し考えがかわりました。
  - 私は「自分が楽しく幸せである職業」という言葉が心に残りました。地域の人たちとも活動しているK.さんはすごいと思いました。また、「いろいろな人にもっと感謝すること」など、改めて考えるよい機会となりました。
  - 「好きなことをつきつめる」「好きを仕事に」と言っていたのがとても印象深いです。私も自分の“好き”や“得意”を仕事にできるようにしたいです。
  - 一番心に残っているのは、「一つの野菜を作るのに1年かかっていると思うと捨てるということがすごくもったいない」と話していたことです。そう考えたら、野菜を育てている方々に申し訳なく思いました。
  - K.さんが作った「地元だけ」の料理を食べてみたいです。他には、白神山地のブナの森や抱き返りなどでレストランをしていることもすごいと思いました。
  - いろんな人とコミュニケーションをとるために、きれいなお弁当を作り、ふれあいができるように食べる場を設定する工夫がすごいと思いました。いつも「お客さんに楽しんでもらえるために自分はどうしたらよいか」を考えていました。
  - K.さんのお話を聞いて、将来は地域のために役立つ仕事をしたいと思いました。
  - お話を聞くまで、「秋田は何もない」とずっと思っていたけれど、「秋田は他と違う良さがいっぱいある」と実感しました。自分の好きなこと・得意なことを仕事にするなんて考えたこともありませんでした。秋田で自分の好きなことをして、地域の人を笑顔にできる仕事をしてみたいと思いました。
- 仙北市にはたくさんの素晴らしいところがあることに気がきました。このいいところを生かして外国の人達がたくさん来るようなところでできればいいなあと思いました。自分の地域の食材や環境を知り、大人になってもこの地域に住み続けているのはすごいと思いました。
- 仙北市の強みを知っているのがすごい。抱き返りで料理をだす企画をして自然に触れる体験もできるというのはとてもいいと思いました。

# くりっこ歳時記～2月～



楽しかったね スキー教室



最後のスキー教室も  
思い出いっぱい！

卒業間近の6年生の特権！  
バイキング給食で食欲もいもい！！



2月7日。青空の下、全校児童で「スノーフェスティバル」ミニの雪像作りや宝探しを楽しみました。



## くりっこたちの活躍～1. 2月～

【第25回全県新人小学生バレーボール選抜大会県南ブロック予選大会】

○ 主催: 県南地区小学生バレーボール連盟主催 5位 きたうらバレーボールジュニアチーム  
(このチームの一員としてがんばった2年斎藤柑奈さん。県大会に出場できることになり、一層練習に熱が入っています)

【平成31年全県新年書きぞめ展】 主催 : 書友社

○ 金賞 3年 新山心結さん 4年 Y.さん

【平成30年度読書感想文コンクール】 主催 : 仙北市教育委員会

○ 仙北市教育長賞		2年	K.さん	
小学校低学年の部	入選	2年	M.さん	
小学校中学年の部	入選	3年	H.さん	3年 S.さん
小学校高学年の部	入選	5年	S.さん	
小学校低学年の部	佳作	1年	H.さん	2年 S.さん
		2年	S.さん	
小学校高学年の部	佳作	5年	H.さん	